

総合科学技術会議

内閣総理大臣、科学技術政策担当大臣のリーダーシップの下、各省より一段高い立場から、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案及び総合調整を行うことを目的とした「重要政策に関する会議」の一つ。

<http://www8.cao.go.jp/cstp/>

地球温暖化研究イニシャティブ

環境分野の重点課題の一つとして、2002年度から総合科学技術会議で定められたプログラム。「地球温暖化研究イニシャティブ」は、各省で行われている温暖化研究をナショナルプログラムとして統合することを目標に、「気候変動分野」「対策技術分野」の研究活動を総合評価している。

<http://www8.cao.go.jp/cstp/project/envpt/index.html>

技術戦略マップ（エネルギー分野）～超長期エネルギー技術ビジョン～

経済産業省・資源エネルギー庁が、長期を見据えたエネルギー関連研究開発の重点化や、ポスト京都議定書の国際枠組みへの対応等の長期的地球的視野からの議論への貢献を目的として、2100年までの長期的視野から、国民各自が得られる効用を増大しつつ、地球的規模で将来顕在化することが懸念される資源制約、環境制約を乗り越えるために求められる技術の姿を逆算（バックキャスト）することによって描き出した超長期ビジョン。

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/g51013aj.html> 資料 4-1、4-2

RITE 温暖化対策研究

PHOENIX プロジェクトでは、温暖化影響を考慮した 21 世紀半ばまでの世界地域別温暖化対応戦略を行うため、特に、温暖化の影響の大きさを踏まえた対策および産業構造の変革と国際分業体制の変化も含めた地域別対応戦略について、Beyond 2010 プロジェクトでは、2013 年以降の排出削減枠組み、削減目標案の検討を行うため、2030 年までの日本、アジア、主要国の削減目標別の具体的対応策とコストおよび国際柔軟性措置に伴う各国の資金移動量等について、モデルシミュレーション解析を行っている。

<http://www.rite.or.jp/Japanese/lab/sysken/systemken.html>

脱温暖化 2050 研究プロジェクト

日本の約 60 人の研究者が、日本における中長期脱温暖化対策シナリオを構築するために、エネルギーだけでなく、産業構造、都市システム、交通システム IT の役割などの技術・社会イノベーション統合研究を行い、2050 年までを見越した日本の温室効果ガス削減のシナリオとそれに至る環境政策の方向性を提示するためのシナリオ研究。技術・制度・社会システムなどを横断した整合性のある実現性の高い中長期脱温暖化政策策定を目指し、経済発展と両立した脱温暖化社会に到る道筋を提言することで研究者以外の人々の脱温暖化政策への関心を高め、社会システム・ライフスタイルの改善に役立てることを目的としている。

<http://2050.nies.go.jp/>